

案内

— 神学校日礼拝について —

日本キリスト教団では、毎年10月の第2日曜日を伝道献身者奨励日(神学校日)として、将来牧師となってキリスト教の伝道のために献身する人々を覚え、また神学校のために祈る日としています。これに基づき、10月14日(火)(夕礼拝)は神学校に学んでいる方に奨励をしていただく日としています。

青山学院フィリピン訪問プログラム説明会

青山キャンパス

日時 10月17日(金)、21(火) 12時40分～13時10分
場所 17411教室

後期チャペル・ウィーク

各方面で活躍されている著名なクリスチャンの方をお招きして礼拝でお話をさせていただく1週間です。礼拝時間も通常より10分延長して実施します。是非ご出席ください。

青山キャンパス(月～金 10時25分～11時5分)

10月20日(月) 梅津 順一(青山学院院長)
21日(火) 姜 尚中(聖学院大学学長、政治学者)
22日(水) Nathan Floyd(弁護士)
23日(木) 近藤 勝彦(東京神学大学名誉教授)
24日(金) 西浦 英次(安田海上火災保険(株)元副社長)

夕礼拝(通常の礼拝)(火 18時～18時30分)

10月21日(火) 渡辺 聡(東京バプテスト教会牧師)

相模原キャンパス(月～金 10時25分～11時5分)

10月20日(月) 村上 一平(㈱日清製粉グループ本社特別顧問)
21日(火) 釘宮 明美(白百合女子大学文学部宗教科准教授)
22日(水) 高橋 克樹(日本聖書神学校教授、豊島岡教会牧師)
23日(木) 小林 毅(チャイルド・ファンド・ジャパン事務局長)
24日(金) 田中 博子(劇団ぶどうの木代表)

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。携帯電話の電源は必ず切って下さい。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

青山学院大学礼拝週報

2014.10.13.
No. 21

神の国節第18週

教会史の人々 [6]

「ジョン・ウェスレー」

John Wesley (1703-1791)

ジョン・ウェスレーはオックスフォード大学で神学を学び、イギリス国教会の司祭となり、後にプロテスタント教会のなかで一つの大きな流れとなるメソジスト教会の源流となった人物です。

大学時代には「ホーリー・クラブ」という学生が主体となった自覚的なグループの指導者となり、何事も「メソッド」(方法)に基づいて行動するという意味で「メソジスト」と呼ばれるようになりました。

ウェスレーは福音宣教に熱心であり、大西洋を渡りアメリカで伝道したこともありましたが、その試みはうまくいかず失意を抱いて帰国しますが、1738年5月24日にロンドンのアルダスゲート街でもたれていた小さな祈禱会に出席していた時に、決定的な回心を経験します。それはルターの記した「ローマの信徒への手紙の序文」が読まれていたときでした。「私は自分の心が不思議と温められるのを感じた」という言葉をウェスレーは残しています。

その後のウェスレーの伝道活動にはめざましいものがあり、教会のみならず大規模な野外集会で数多くの説教を語り、それは現在の教会の霊的な財産となっています。「世界はわが教区」とはそのようなウェスレーの精神をよく表しています。



キング・ジェームズ版英語聖書復刻版(宗教センター蔵)

今年度の主題聖句

神から受けた純真と誠実によって

(コリントの信徒への手紙 二 第1章12節)